

## 令和4年度第3回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

### 1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

- (1) 開催日時 令和4年（2022年）12月15日（木） 午後2時00分～同5時00分
- (2) 開催場所 宝塚市役所 3階 3-3会議室 （リモート併用）
- (3) 出席者
  - ・ 景観審議会デザイン協議部会委員  
岩井委員、大平委員、徳尾野委員、高木委員、田中委員、山根委員、  
廣田委員
  - ・ 事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）  
濱田部長、福田室長、谷口課長、下山係長
  - ・ 設計者  
議事① 事業者 植田清子  
設計者 フジ住宅株式会社  
議事② 事業者 宝塚市副市長
- (4) 議 事
  - 議事① （仮称）フジパレスシニア中筋新築工事
  - 議事② 宝塚市新ごみ処理場施設等整備事業
- (5) 傍聴者  
0名

### 2. 会議の要旨

事務局： 本日のデザイン協議部会は、委員7名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいません。

本日の審議について、事務局より提案がございます。議事2について、非常に大規模な計画かつ、公共性の高いこと、市内において景観上重要な位置に立地していることなどから、協議を2回に分けて行うことをご提案させていただきます。次回の協議部会を、通常の協議をいただく場とし、本日の審議は、計画について充分理解していただくことを目的とし、主に計画を説明させていただく場としたいと思います。そのため、議事2については本日の審議では意見書はまとめず、次回の審議で、意見をまとめ、事業者へお渡ししたいと思います。

会 長： 事務局から審議についての提案がありました。異議のある方はいらっしゃいますでしょうか。

異議のある方がいらっしゃいませんので、事務局の提案のとおりとします。  
なお、本日の署名委員は順番により、4番田中委員と7番山根委員です。

☆☆☆☆ (仮称) フジパレスシニア中筋新築工事 ☆☆☆☆

会 長： 今回の事業計画で、景観上特に配慮された部分について説明してください。

設計者： まず、今回の建物の周辺環境として、周囲には田園風景が広がっていますが、駅前という立地でもあり、まちへと変化していく地域であると捉えています。そのため、アースカラーを基調とした色彩とするとともに、単色ではなく複数の色彩を組み合わせ、単調な印象にならないよう計画しました。

ボリュームとしては、周辺の建物の大きさと調和できるよう比較的低層な3階建てとしました。建物配置は、道路より一定後退し、圧迫感をなくすよう計画しました。緑地については、建物周辺に配置し、建物と緑の調和を図るよう配慮しています。

会 長： ありがとうございます。委員の皆様、質問ご意見等お願い致します。

委 員： 立面図に記載いただいているマンセル記号について、南立面の壁の色が2YB8.2/0.9となっています。YBという色相はありませんので、誤記かと思えます。正しいマンセル値はわかりますか。

設計者： すみません、この場では分かりかねますので、正しいマンセル値を確認し、後日報告させていただきます。

委 員： 他にも、最上階の笠木やバルコニーの軒天、庇やサッシ、正面玄関の扉、基礎の立ち上がりの部分などのマンセル値や材質の記載がありません。景観について協議する場ですので、資料でしっかり示していただきたいと思えます。協議のための情報が不足していると思えます。

会 長： 指摘があったサッシの色や笠木の色は、景観上は非常に大切な要素です。また、平面図では室外機の記載がありますが、立面上での記載がありません。室外機の設置が、バルコニーの腰壁の裏側でしたら見えませんが、上から吊るのであれば周囲から視認できることとなり、大きく景観に影響してきます。このあたりについても示していただく必要があると思えます。

委 員： 複数の浴室の計画をされていますので、給湯器の位置も記載してください。また、雨樋についても、縦樋は記載をお願いします。

設計者： 今ご指摘いただいた事項は、どこに記載すべきなのでしょう。資料には、道路から見た東側のパースを添付していますが、雨樋はこちら側にはでき

ません。反対面となる西側からのパースも作成して提出しなければならないということでしょうか。

会 長： 必ずしもパースということではなく、どのような計画となるのか分かる資料にさせていただきたいということです。例えば立面図に記載いただいても構いませんが、今回は 2 面道路の敷地ですので、東面及び西面のパースを示していただくのが望ましいと思います。

委 員： 計画周囲は、田園風景が広がっておりますので、緑豊かに計画していただくのが望ましい環境だと思います。また、この協議部会においては、道路際に緑を効果的に設けて、豊かなまちなみを形成して欲しいという事をこれまでみなさんへお伝えしてきました。

今回の計画では、特に東側の道路側の植栽が少なく、道路から駐車場の車が直接見える状況になっています。隣地境界側の北東部にまとまった緑地帯を設けていただいています。隣地境界側より道路際に植栽を設けていただく方が、景観上は効果的です。例えば、隣地境界側の緑地帯を少し減らして、東側の道路際に緑地帯を設けていただくことはできないでしょうか。東側の道路際に緑地帯を設け、出来るだけ駐車場の車やアスファルトなどの無機質な人工物が見えないようにしていただきたいと思います。なお、高木だけでは駐車している車が視認されてしまうので、道路から手前の部分に低木を計画し、その奥に中木や高木を配置していただくと良いと思います。

また、道路際の中木について、シマトネリコを計画されています。シマトネリコは横に枝がかなり広がってくる樹種で、駐車されている車に干渉する可能性があるため、直線的に枝が伸びる樹種を選択いただく方が良いと思います。例えば常緑樹であればソヨゴ、アラカシ、シラカシ、落葉樹でしたらエゴノキ、彩を添えたいということでしたら、サルスベリやカエデ類などの季節を感じる落葉樹も良いかもしれません。

また、適切な植栽間隔について、計画されている植栽はかなり密な間隔になっています。実際に植えた時に管理ができるのか、育つのかを再度ご検討いただいた方が良いかと思えます。

樹種については、常緑で洋風の樹種を選定されていますが、周囲は田園風景が広がっていたり、古くから和風の樹種を扱う造園業を営まれているところもあるような地域だと認識していますので、少し和風を感じるような樹種選定が望ましいと思います。また、常緑樹だけでは季節ごとの変化がありませんので、可能であれば落葉樹や、入居者の方も楽しめるような花木なども選定いただければより良いと思います。

会 長： 道路際に駐車場が直接面しているのは、景観上望ましくないものです。市の基準にはもちろん適合されていると思いますが、協議対象となる案件についてはより良い景観となるよう、道路に面する駐車場については、車が隠れるように緑を入れてもらうなどの対応をこれまでも継続的にお願いしてきました。

北東部の緑地帯を少し減らして、東側の道路際に緑地帯を設けていただくという先ほどの委員の提案について、いかがでしょうか。

設計者： 景観上道路際に緑地を設けることが望ましいということについては、理解しています。南東側については、建物の配置計画等がありますので道路際に緑地帯を計画するのは難しいですが、北東側については、多少駐車場等をずらして対応が可能ではないかと思えます。ただし、道路対側が商業施設の出入り口の正面ということもあり、高木を植えると見通しが悪くなるため、低木での計画となるかと思えます。

会長： 安全性に関わることですので、見通しも重要だと思います。その辺りも配慮していただきながら、景観上もより良くなるようご検討をお願いします。  
また、樹種について、現在は洋風だという意見がでました。周辺は開発が進んできている部分もあるかと思えますが、遠くに山並みが見えますし、落ち着いた雰囲気を残しているのもう少し和風の雰囲気も取り入れていただければと思えますが、いかがでしょうか。

設計者： 樹種については、当社の方でも基準があり、それに基づいた計画となっておりますが、地域性に応じた対応もある程度可能だと思いますので、再度検討させていただきます。北側の緑地は、低木のクチナシとタマツゲを計画していますが、例えばサツキ、オタフクナンテン、ツツジなどに変更できるかと思えます。いただいたご意見を踏まえて、コストや管理面も含めて検討させていただきます。また、ご指摘いただいていた緑地内の樹木の本数は、当社の基準に基づき、市の基準よりもかなり本数が多く、密植するような計画になっています。

委員： 緑地内で密植するような計画になっていることについて、この部分には、低木のクチナシなどの他に、高さ 1.5m のスカイペンシルとフェイジアを計画されています。例えば 1m 間隔で実際に植えた場合には、フェイジアは枝ぶりが横に大きく伸びますので、樹幹が軽く 3m を超え、横の木をいじめることになります。そうすると、せっかく植えたものを抜いてしまわなければいけなくなります。ですから、少し本数を減らしていただき、その分を、例えば先ほどご提案した落葉樹のエゴノキなどを計画いただけると、景観上より良くなると思えます。

また、先ほど申し上げたソヨゴ、アラカシ、シラカシは生垣にも使われるような樹種ですので、計画されている 1m 間隔よりは、密になるところと粗になるところがでてくるようにランダムに計画すると、バランスが良いと思えます。

低木については、資料では樹種のみ記載ですので、配置が分かりかねますが、色々な種類を混植されるということは、非常に効果的で良いと思えます。

緑地内の全てに低木があるのか、あるいは端だけなのかなど、低木と中木、高木のバランスで視覚的に景観を捉えますので、それぞれの配置も含めて図面に記載していただくと、もう少し具体的なアドバイスもできると思えます。

委員： 着色立面図で白色の壁面部分について、明度 8.2、彩度 0.9 となっておりますが、彩度 0.9 は宝塚市の建物としては少し低すぎると思えます。これまで他の案件についても、彩度が 1.0 を切らないよう、1.2 や 1.5 にしていただけるようお願いしていますので、ご検討をお願いします。

今回の計画地に近接している商業施設でも同様に協議し、真っ白にならないよう配慮いただいたと記憶しています。彩度 0.9 は、あまりにも色味がない色ですので、出来るだけ避けていただきたいです。既製品を使用されている場合には数値を指定するのは難しいかと思しますので、とにかく彩度は 1.0 以上となるよう製品を選定いただきたいと思います。

設計者： この部分は既製品を使用します。彩度 1.0 以上というのは何か基準があるのでしょうか。

会長： 明確な基準はありません。しかしながら、協議対象となるような大きな建物については、同じマンセル値でもより白く見えてきますので、デザイン協議部会ではこれまで統一して意見し、お願いしているというものです。

さきほどの委員の発言にもありました商業施設についても、若者向けにしたいという事で、当初はかなり白い計画でしたが、協議を経てアースカラーに近い色に変更していただきました。今回の計画においても、是非景観づくりに協力していただきたいということで、意見をお伝えさせていただいています。

設計者： 今日この場でこのようなご意見をいただいたことは持ち帰り、検討させていただきます。しかしながら、事前に市の基準を確認し、その上で計画させていただいております。景観形成基準は遵守させていただいておりますので、それ以上の対応をすべき明確な理由を理解できない部分があります。

会長： 景観形成基準は基準であって、計画の規模に関わらず適用されるものです。先ほど説明しましたように、壁面の大きさによって、同じマンセル値でも見え方が変わってきますし、また、デザイン協議部会で協議を行う案件は、規模が大きいもので、周囲への影響も大きい計画ですので、このように個別で協議を行い、意見をお伝えして、より良い景観づくりにつながるよう努めているということです。

設計者： 我々は既製品を採用しており、他の場所で全く同じ計画をさせていただいたこともございますが、今回計画においては、彩度 0.9 とさせていただくことは不可ということなのでしょうか。

会長： 必ず不可ということではありません。彩度 0.9 のままでも、計画を止めることはできません。しかしながら、景観というのは一つ一つを積み重ねていくもので、皆さんに少しずつ協力していただくことが必要だと考えています。

設計者： 分かりました。検討させていただきます。

委員： 御社だけではなく、他の事業者にも、無理を言って変更対応もしていただけてきております。是非とも前向きにご検討いただければと思います。

委員： 計画地周辺は、子育て世代も多く、緑も豊かで穏やかな場所です。駅前の商業施設が建ったときにも、便利な反面、のんびりした雰囲気が変わっていくような気がして、少し残念な気持ちになったことを覚えています。今回の計画について

も、同じような思いもあり、是非とも周辺環境を損ねないような配慮をいただきたいという思いです。

先ほど別の委員から色彩の意見がありましたが、私も同じ意見です。また、屋根が黒色なのが、少し冷たい印象を受けました。もう少しあたたかみのある外観になるといいかと思いました。

地域に馴染む色と、植栽計画などを少し検討いただいて、是非ご協力いただけると嬉しいです。

会 長： 地域を良く知っている委員ですので、参考にして下さい。

委 員： 平面図を拝見しますと、施設運営のための掃除道具などの雑物を置くような倉庫がどこにもありません。運営されるうちに、敷地内にスチールなどの物置を置かれることを懸念します。景観上影響があるので、気になっています。

設計者： 事業としては、建築後の運営については、介護の専門業者に依頼する予定で、業者は未定の状況です。

運営については運營業者次第という部分もありますが、ご指摘いただいた件について、運營業者に申し送ることは可能だと思います。

会 長： 是非ご対応をお願い致します。

委 員： 細かい部分にはなりますが、用途地域の部分で誤記がありますので、別途修正をお願いします。また、着色立面図上で記載のない外観の色彩や材質についても、詳細を記載いただきたいと思います。

委 員： 色々な意見がありましたが、道路際の植栽に関する配慮は是非お願いしたいと思います。

また、彩度0.9が白すぎるということについて、同意見です。なお、パースと着色立面図の色について、印刷の都合もあるとは思いますが、出来るだけ同じ見え方となるようにしていただけると助かります。

委 員： 入居される方にも喜ばれて、周辺を通る方からも、素敵な建物だと思われるような建物にしていだきたいと思いますので、是非よろしくお願い致します。

会 長： 駅が近い立地ですので、今後開発されていく場所も増えるかと思えます。今後のお手本となるような建物にしていだければ非常に有難く思います。

今回は、特に建物外観について、記載が足りない部分がありましたので、出来れば再度協議させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

設計者： 分かりました。ただ、確認申請の手続き等のスケジュールの関係もありますので、次回の協議は出来るだけ早急に設けていただければと思います。

今回ご意見いただいた部分については、配慮できるものは対応させていただき、対応できないものについては再度ご説明をさせていただきます。

事務局： 再度ご協議いただけるとのことであれば、当課で取り扱える範囲については、出来るだけ並行して手続きを進めていただけるよう配慮させていただきます。

会 長： 今回の本日の意見については、後日事務局から文書での提示もありますので、参考にしていただき、ご検討宜しくお願い致します。

また、意見について、対応することができない部分もあるかとは思いますが、対応できない部分についても、例えばこのようなことなら出来る、というようなことを併せて検討いただくと非常に意義のある協議になるとと思いますので、宜しくお願いします。

それでは、議事 1 については、これで終了したいと思います。ありがとうございました。

☆☆☆☆ 宝塚市新ごみ処理場施設等整備事業 ☆☆☆☆

会 長： 冒頭で事務局より提案があったように、本日の審議は、主に計画を説明いただく場とします。ご説明よろしく申し上げます。

事業者： 今回の整備事業はクリーンセンターの各施設を、現況の敷地内にて順番に建替えていく事業となっております。計画建物が多く分かりづらい部分もありますが、後ほどご質問もお受けいたしますので、宜しくお願い致します。

資料に沿ってご説明させていただきます。まず事業の概要や基本的な考え方を記載したページをご覧ください。周辺の景観や、建物の外観、材料、色彩及び植栽に対する考え方を記載しております。こちらは後ほど設計者の方から説明いたします。

続いて、付近見取図をご覧ください。計画地は市役所の対岸辺り、スポーツセンターに近接した位置で、現在も稼働中の場所です。

現況写真をご覧ください。東の道路側からの写真、武庫川側からの写真及び敷地内から撮影した写真を添付しています。現況では道路側、武庫川沿い側どちらから見ても大きな高木があり、豊かな植栽がある環境です。

続いて、現況の既存建物の外壁のマンセル値を表示しております。主に白やベージュ系の色合いを採用しています。

続いて、現況の植栽図及び断面図です。敷地の外周部に多くの高木があること、また、敷地内はあまり高低差がないことがお分かりいただけるかと思えます。

続いて、工事工程表です。今回の事業形態としてDBO方式を採用しており、設計と施工と運営を一括で発注したものを受注していただいております。事業期間も長期に渡り、工事期間だけでも10年間を予定しています。現在は実施設計の段階で、来年の令和5年の4月より順次工事に着手していく予定となっております。全体の工期は大きく4つに分けており、事前工期、第1期工期、第2期工期、第3期工期となっております。それぞれの工期において、部分ごとに既存施設の解体を行い、新設の建物を建てるということを繰り返し行っていきます。

続いて、工事手順図です。工期ごとに、建物の解体や減築等を行う建物と、新設で計画する建物をお示ししています。仮囲いは、高さ3mのものを計画しています。敷地外周部と敷地中央部に設置する予定です。

続いて、現施設と新施設の施設一覧及びボリューム等を重ねて比較した資料です。新しい建物は複数の建物の集約もありますので、ボリュームが多少大きくなっています。煙突部分は、既存とほぼ同じ高さで、形状は多少細くなるような計画です。新設のマテリアルリサイクル推進施設と既存部分を重ねた図を見ていただくと、既存焼却炉よりボリュームは大きくはならないことが分かります。

続いて、最終的な竣工時の配置図です。緑で囲んだ部分が新しい建物で、最終的に敷地内には小さい建物も含めた7棟を計画しています。敷地内のエリア区分を示した図面をご覧ください。敷地内において、工場エリアと市民エリアをフェンス等で明確に分ける計画になっており、青で囲んだ部分が市民が利用可能なエリアです。隣接するスポーツセンターからのアクセスも考慮し計画しています。

続いて、外構計画図です。建物の外周の大半を占めている薄緑色の部分はアスファルト舗装で、濃い緑色の部分は緑地です。その他はカラーアスファルトを採用している部分や、エントランスの辺りにはインターロッキングや玉石舗装の部分などがあり、ベージュを基調とする予定です。

続いて、植栽計画図です。今回は、全て新設の植栽となります。敷地外周部には高木を計画しており、河川側と憩いの広場には桜を配置する計画です。計画している植栽の樹種の一覧も添付しており、それぞれの選定理由とデザインコンセプトを記載しております。

続いて、エネルギー回収推進施設の図面です。この施設には、ゴミを燃やす焼却炉が配置されており、現況では別棟のし尿処理施設及び発電施設も併せて整備します。また、日常的な利用ではありませんが、予約制で、施設見学等の利用があります。立面図には外観のマンセル値等を記載しています。

続いて、管理棟収集車車庫等の図面です。この建物は複合用途の建物ですが、主に市職員が業務を行う事務空間や、啓発関係の施設を紹介する場所、施設見学者のスペース、収集車の車庫、及び作業員の休憩スペースなどがあります。建物は地上3階建てで、屋上緑化や太陽光パネルも設置する計画です。屋上緑化については、植栽の種類を区分し、波状にラインが入るデザインを取り入れる予定です。着色立面図で外観マンセル値を記載しています。基本的な色味はエネルギー回収推進施設と同様です。

続いて、マテリアルリサイクル推進施設の図面となっています。地上3階建て、こちらの色味も、エネルギー回収推進施設等と同様の色合いで計画しています。

ここからはいくつか小さな建物の図面を添付していますので、ご参照下さい。

続いて、パースをご覧ください。パースについては、図面と多少整合していない部分もありますので、イメージとしてご覧いただければと思います。その他製品のカatalogや、工事中の仮設建物の資料も添付しています。

事業の概要及び資料のご説明は以上です。引き続き設計者よりデザインコンセプトについてご説明いたします。

設計者： まず、全体的なデザインコンセプトは、「周辺環境と調和した、緑あふれる地域の方に親しまれる施設」として計画しています。

周辺には教育施設、運動施設及び住宅等、また、対岸には市役所があり、不特定多数の方が訪れる地域になっておりますので、周りの施設と調和するよう、主に外壁の色は周囲の建物の色と合わせたベージュ系で構成しました。また、既存の状況としましては、市道側、武庫川沿いには豊かな緑が植栽されて良好な景観

をつくっています。今回の計画においても、植栽を連続させ、絶やすことなく緑をつなぐよう配慮しました。植栽については、ただ植えるというだけにならないよう計画しています。例えば、東側の道路側は、圧迫感を与えないような植え方として、歩道の近くにはまず低木を植え、奥にセットバックしたところに高木を植えることや、鬱蒼とせず、工場の外壁であるベージュ色と調和するよう、外壁がキャンパスとなって緑が入るようにしていきたいと考えています。

次に、東側の具体的なデザインコンセプトについてです。ボリューム構成については、基本的には東側の道路側には圧迫感を与えないよう、奥の方の建物が高くて前の方の建物は低くなるような計画になっています。

外装材については、ALCを横貼りとする事で水平ラインを残し、横への伸びやかさを出し、極力建物の高さを感じさせないように、水平ラインを強調するデザインにしています。また、管理棟について、道路側に広場を設け、他の建物に比べ大きく西側にセットバックした計画になっています。広場には四季折々の花や、市木であるヤマボウシをシンボルツリーとして植え、ベンチを置き、寛げる空間となるよう計画しています。また、風力発電や太陽光舗装をアプローチ部分に設け、自然エネルギーへの啓発にも努めた施設としております。

続いて、西側のデザインについてです。敷地内に複数の建築物がありますが、全体としては一体的に見えるデザインとしています。また、武庫川に対して、それぞれが同じ面を向き、建物が一体的に見えるような配置及びボリューム計画としております。外壁色については、東側と同様とし、ベージュ色を用いて水平ラインを入れ、水平的な伸びやかさを出して縦協調をなくすようなデザインとしました。低層部については、ベージュの中でもトーンを落とし、足元に極力重量感を置いています。一方、上層部については、色を薄くすることで軽さを出し、空に溶け込むようなイメージで色の使い分けをしています。

また、マテリアルリサイクル推進施設とエネルギー回収推進施設の見学者ルートになっている3階部分には、木彫ルーバーを用いています。建物内部から武庫川を望むことができ、外観としても、ルーバーによって建物の一体感が生まれずし、そこに視線が行くことで建物全体のボリューム感を軽減させることを意図しています。

煙突については、縦スリットを入れて、ボリューム感を軽減させ、トップ部分を格子状に組むことでデザインに変化を持たせ、全体ではなく部分に目が行くようにしてボリュームの軽減をするように気を使いました。

次に、武庫川の河川敷沿いは現在豊かな連続した植樹環境となっておりますので、現在の植樹環境を踏襲して、周辺環境との調和を配慮し、連続した緑となるように桜やシマトネリコなどの常緑の高木を植樹していきます。

また、敷地北西の憩いの広場、屋上緑化及び敷地内植栽により緑豊かな景観を形成しています。憩いの広場及び管理棟屋上の緑化等には玉石の砂利舗装や植樹の使い分けによって波状のデザインを用いて、武庫川の川の流れのようなデザインを緩やかに取り込むということも考えております。

次に、憩いの広場と駐車場についてです。本施設が市立スポーツセンターに隣接していることを活かして、スポーツセンター利用者も利用できる駐車場と市民のための憩いの広場を整備し、遊歩道を介して利用者や河川敷を散策する方がアクセスしやすい環境整備を行っております。

現施設は工場エリアと市民エリアが混在しているため、新しい施設では工場エ

リアと市民エリアを明確に区分して現施設以上に歩者分離に配慮することで安全に施設に来ることが出来るような施設計画、動線計画としております。

外構の床仕上げについては、基本的に舗装部分のインターロッキングはベージュ色を用いて玉石の砂利舗装を採用し、建物の外壁と馴染む温かみのある歩道環境を計画しております。説明は以上です。

会長： ありがとうございます。委員の皆様から質問をお願い致します。

委員： 緑地について、現状の樹木を一度全て撤去し、新たに植え替えるということで間違いないでしょうか。

事業者： ご指摘のとおりです。既存の植栽は結果的にですが全て一時的に撤去し、新しい植栽となる計画です。

委員： 外壁の色を少しずつ変えているのは景観上良いと思います。次回の審議会には、外壁材やルーバーなど外観に係るものについて、可能な範囲で現物見本をご用意いただきたくことはできますか。

設計者： 外壁の吹付材の小さなサンプル、ルーバーなど入手できるものは可能な限り手配し、持参させていただきます。

委員： 市民の立場から、景観とは関係ないのですが、建替えの金額などが気になりました。色々な理由があるかとは思いますが、植栽も含めて、全ての施設を建替える大きな理由を簡単に教えていただけますでしょうか。

また、敷地内の風力発電や太陽光パネルなどが、敷地規模に対して非常に小さな規模の設備のように思います。この規模の設備ではエネルギー供給の面ではあまり意味がないかと思いますが、こういった意図なのか教えてください。

それから、既存のクリーンセンターの煙突には時計がありました。南口の建物にも昔は時計がありましたが、阪神淡路大震災の時に止まってしまい、今はもうありません。クリーンセンターの時計は、川沿いをランニングするときなどに見ていたのですが、今回無くなると聞いて残念に思っています。維持管理にコストがかかるから無くなってしまうのでしょうか。経緯など教えてください。

事業者： まず、建物を全て建替える理由についてご説明いたします。

基本的に焼却炉などの機械設備は、使用に伴い老朽化するもので、維持管理をしっかり行った上でも20～25年の使用期限となります。現施設は既に30年経過しているため、早急に対応する必要があります。また、どこへ建替えるかということが大きな問題となります。最も良いのは、現敷地と隣接した広い土地で、建替えを行うことですが、そのような条件は現況では難しいものでした。その他色々な選択肢も含め検討した結果、今の土地の中で建替えを行うことが、コスト面も含め最善であると判断しました。なお、建替え費用のみではなく、運営のためのランニングコストも含め、総合的に検

討した結果です。

次に、植栽のやり替えについて、理由をご説明いたします。クリーンセンターは、一年中稼働しており、機能を停止することはできません。そのため、まず仮設の建物を建て、それを稼働させてから、既存の建物を止めるというサイクルを、敷地内で順次行っていかなければなりませんので、工期も長くなり、経費もかかります。また、工事車両の動線や資材置場などの確保も非常に厳しく、少しの空きスペースを何とか活用して工事を進めなければならない状況です。離れた他の土地もなるべく利用しますが、都市部という事もあり用地の確保も難しいこともあり、敷地内を目いっぱい有効活用するため、植栽も一時的に撤去致します。

次に、風力発電や太陽光発電が部分的に設けられている理由について、ご説明いたします。クリーンセンターは学習施設としての側面も持っています。予約制にはなりますが、小学生や一般の方に施設内を見学していただき、リサイクル等について考えるきっかけとなる施設として位置付けています。エネルギー供給などに大きく寄与することを目的とはしておらず、リサイクルやエコに関する設備を積極的に取り入れ、啓発する意図で計画しています。

次に、煙突に時計が無い理由について、ご説明いたします。時計のシンボリックな位置付けについては、我々も認識しております。しかし、一方で、設置して欲しくないという意見もお聞きしています。どのようなデザインがいいか色々な意見を取り入れながら検討した結果、今回は時計のない計画を採用しています。ご意見をいただいたように、維持管理やIT関係の問題もあります。

また、総事業費については市HPにも掲載しておりますが、運営も含めておおよそ600億程度です。内訳としては、整備工事が400億程度、運営費が200億程度です。委託期間は、運営を含めて28年程で、令和29年までとなっております。

委員： ご説明ありがとうございます。個人的には、休日の河川敷は、スポーツをするなど沢山の人が利用されているので、時計は計画していただきたいなと思いました。

委員： 水平ラインを重視されたという話をお伺いしましたが、例えば近隣の建物等、何かモチーフにされたものなどがあれば、教えてください。

設計者： 具体的にこれだという明確なものはありませんが、参考にしたものなどは少し思い返して、ご提示できるものがあれば整理しておきます。

委員： 対岸からの中遠景のパースがありますが、これはどこからの景色ですか。

事業者： 武庫川対岸の河川敷の川のすぐ傍からのアイレベルの景色です。

委員： パースは、事実を表現しているのだらうと思いますが、「宝塚市として、この風景がこの場所から見えることを大事にしている」というのが、重要な視点ではないかと思っています。このパースにそのような視点があるのか、な

ければ何かそういったことが分かるようにご説明をいただきたいと思いました。例えば、現況写真を出していただいて、現況と比べてこのように変わりますという説明の仕方などでも良いかもしれません。

また、現況写真について、パノラマで示されているため、実際に感じる景観とは少し違う部分があるかと思います。比較できるものが一枚あると実際に見えるシンボリックな風景や景観の議論になるかと思いますので、可能であれば、次回ご準備いただけるとありがたいです。

事業者： パースは、武庫川の河川敷から降りたところのアイレベルですが、見え方としてはほとんど市役所からのレベルのパースです。同じ視点からの写真はお示しできると思いますので、準備致します。また、市として、この場所のここからの景色が、ということについてもご説明の準備をさせていただきます。

会長： 市役所北東の宝塚新大橋から見た景色は、市役所に訪れる市民がよく目にする風景ですので、このあたりも視点場かもしれませんね。

委員： 東側前面道路南端からの近景のパースでは、管理棟のガラス張りのあたりが見えてきません。駐車場や広場がある北側から、斜めに管理棟が見えるようなパースをご用意いただけるとありがたいです。

先ほどのデザインコンセプトの中で、水平ラインを強調し、高さを抑えるというお話がありました。しかし、管理棟は大分セットバックしているものの16m程あり、この部分は縦方向のデザインが強調されているように感じました。ガラス面という反射の強い素材が使われていますし、ここからつながる渡り廊下の部分もガラス張りになっていますので、この辺りの見え方が非常に気になります。

また、敷地部分だけではなく、隣地や、河川の利用のされ方との連続性のようなものも含めて協議できればいいと思います。例えば、河川沿いの樹木の連続性などが分かる資料などもあればご用意いただきたいです。

事業者： 可能な限り対応いたします。

委員： 既存の植栽は全て撤去し、今回全て新設ということについて、維持管理面が気になっています。広い敷地で植栽の数も多いですので、今後の維持管理の主体や方法なども、次回教えて頂きたいと思います。

事業者： 樹種の選定理由も併せて、次回ご説明させていただきます。

会長： 建替えの計画について、25～30年後も、また今回と同じように施設の更新を予定しているのでしょうか。

事業者： 次回の建替えについて、このような施設は適地を見つけるのがなかなか難しいという課題もありますし、今後人口減少が見込まれるため、次回は何とか広域化していきたいと我々は考えています。

今回の計画についても、各市と調整し、広域化についても検討しましたが、なかなか足並みがそろわず、今回は一市での建替えとなりました。

会 長： 広域化というのは、近隣市と連携し、次回はいずれかの市が引き受け、その次には、別の市が引き受けるというような事なのでしょうか。

事業者： そのようなかたちで持ち回りになるかどうかも含め、今後検討していくことになるかとは思いますが。広い土地が必要ですので、各市と調整し候補地を見つけ、例えば2箇所に分散させるという考え方もあるかもしれません。連携できる市がいくつまとまれるのかによっても変わってくるかと思っています。また、災害時にも安全な場所等も含め、今後検討が必要になってくるかと思っています。

会 長： 次回の建替えについては、今回の計画とは少し違うものになる見通しということですね。他にはよろしいでしょうか。

それでは、今回は具体的な議論に入りたいと思います。

現況と新しい建物が視点場からどのように見えるのかは重要な論点になるかと思っています。また、現物見本も可能な限りご用意いただき、議論させていただきたいと思っています。

以上で議題第2号を終了いたします。ありがとうございました。